

第31回山口クロスカントリー大会 競技注意事項

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則・同駅伝競走規準並びに本大会規定による。

1 出場競技者について

- (1) リレーチームは、5名（小学生は6名）とし、申込み後の競技者の変更は認めない。
オーダーは、チーム申込み時に提出済み。
- (2) オーダー提出後の競技者変更は補員をその区間の交代として補充し、競技者の変更を大会当日9時00分までに大会本部受付に申し出ること。（感染症等によりチーム編成が難しくなった場合はオープン参加等の処置をとり、チームのレース出場への救済を行う）

2 アスリートビブスについて

- (1) リレーのアスリートビブスは主催者が1人につき2枚配付する。
2枚はユニフォームの胸と背に安全ピンでそのままの状態をつけること。
アスリートビブスの返却（回収）は、行わない。
- (2) クロカンの部は各自のアスリートビブスをつける。

3 競技者の点呼方法及び招集時刻について

- (1) 招集所は陸上競技場南側の芝生付近に設ける。
- (2) 点呼方法及び招集方法は次の通りとする。
競技者は、スタート時刻15分前に点呼を受ける。（本人がユニフォームのナンバーカード及びスパイクシューズを見せる）リレーの部は、3名ないし4名がそろって点呼を受ける。

4 競技について

- (1) 競技者は陸上競技場外では、係員の指示に従い走行すること。陸上競技場内（中継所等）の走行についても審判員の指示に従うこと。
- (2) スパイクの使用も可能とする。この場合、スパイクピンは全天候用とする。なお、陸上競技場は全天候仕様である。
- (3) 引継ぎ用の「たすき」は、各チームで準備する。
- (4) 競技中「たすき」は肩から斜め脇下へかけて走るものとし、肩にかけていない競技者は失格の対象となる。ただし、中継所前後は手に持って走ってもよいが、次走者はできるだけ早く肩にかけて走ることにする。
- (5) 「たすき」の引継ぎは中継線より進行方向20mの引継ぎゾーン内で行い、手から手へ確実に受け渡しすること。なお、「たすき」を引継ぐ競技者は競技時間帯になったら、審判員の指示を受け待機ゾーンに入り、走行中の競技者が陸上競技場内に戻る前に自チームのおおよその順位を確認し、中継線より進行方向（前方）に位置しなければならない。
- (6) 中継点において「たすき」を渡し終わった競技者は、速やかに係員の指示により、中継点付近より外へ移動すること。
- (7) 競技者が途中で競技を続行できない状態になったり、医務員等により競技の中止を命じられた場合は、当該チームのその区間以降の競技を無効とする。なお、無効となった区間以前の各区間の記録は認められる。
- (8) スタートの要領は次の通りである。
出発係は、スタートの5分前、3分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前を知らせる。
なお、スタート10秒前と同時にスターターは英語で合図する。「オン・ユア・マークス」。
競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び静止、ピストルの合図でスタートする。（5分前でスタート地点付近に集合して各自のスタート位置を確認し、1分前には競技服装になってスタートライン手前に整列すること）
- (9) 競技は、繰り上げスタートはしない。
- (10) 競走には伴走、飲食物の補給その他の助力は一切認めない。

5 スタートについて

スタートはナンバーカード順に列に並ぶこと。（走る方向に向かって左側から）

6 その他

- (1) 競技中に生じた事故については応急処置のみ大会本部で行う。
- (2) 会場周辺の道路は混雑が予想されるので、各チームの競技者や応援者輸送のバス等は十分注意して駐車すること、また、本部の指示により駐車場所の移動要請をすることもある。
- (3) 山口県セミナーパーク内において、のぼり・横断幕等は固定しないこと。また、のぼり等がレース中の競技者と接触しないように保持すること。
- (4) 荷物については、各自あるいは各チームで管理すること。